

議会だより **せら**

元気な せらっ子

■今号の主な記事

- 年頭のごあいさつ..... 2
- 議会構成表..... 3
- 新体制による初議会..... 4~5
- 委員会は 今..... 6~7
- 陳情と請願 このように決まりました..... 8
- ズバリ **町政の課題** 13議員31問... 9~15
- 元気な人 スローなエンジョイライフを..... 16

No.32 平成25年1月15日発行

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

発行/広島県世羅町議会 編集/議会広報広聴調査特別委員会

年頭のごあいさつ



副議長 仙光 保喜

新年あけましておめでとうございます。
国政の場合も、突然の衆議院の解散総選挙で自民党政権に変わり、政策も大きく変わると思われます。我が町でも新町長が誕生したことにより、町政がどのように変わるのか、町民の大きな関心事であります。
私は、副議長に就任し、議会改革調査特別委員会の委員長にも選任されました。議会の今後のあり様を決める重要なポストであると任務の重さを痛感しています。
議長を支える補佐役は勿論、議員それぞれの活発な議論の上に議会そのものが正しい判断を下せるよう努めてまいります。

そのためには、議員はモラルの向上に努め議会の役割を果たすための研鑽を積むことが大事であります。
町は、少子高齢化、農業後継者の育成、過疎化対策など、また尾道松江線の全線開通を見越した産業振興政策など課題が山積する一方、高齢者福祉や子育て支援策の向上も重要な課題であると認識し努力してまいります。
皆さんのご支援とご指導をよろしくお願いを申し上げます。
新年の挨拶といたします。



議長 中村 幸雄

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様方には、ご壮健にて輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。平素は町議会運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
昨年11月の臨時会において、議会議長に就任いたしました。
浅学非才、微力ですが町民の皆様の福祉の向上のため専心努力いたす所存でございます。
新町長を迎え、議会議員も2名減の14名で出発しました。合併後の8年間は財政再建に終始した期間で、町は財政危機から脱出したとはいえ、このことを無駄にせず、

ず、コンパクトで効率の良い行政運営を基本に、新たな町づくりが望まれます。
また、尾道松江線の全線開通も間近に控え、町の活性化に向けた取り組みが重要になります。
昨年末には世羅高校陸上競技部が都大路へアベック出場を果たし、懸命に走る姿は、多くの町民に感動を与えてくれました。
さて、地方分権改革の進展に伴って、自己決定、自己責任の範囲が拡大し、議会が担う役割は、一層重要となり、議会活動の充実に向けて努力して参ります。
皆様方の格別のご理解とご協力をいただき、この一年が幸福な年でありますよう、心からご祈念申し上げます。

コンパクトな行政交流と活性化を目指す

議会構成表

■正副議長

H24年11月12日現在

議長	中村 幸雄
副議長	仙光 保喜

10月21日投開票の世羅町議会議員一般選挙で選出された14人の新議員での初議会が11月12日に開かれた。

■監査委員

監査委員	仲行 洋
------	------

■常任委員会・議会運営委員会

名 称	人数	◎委員長・○副委員長・委員									
総務文教 常任委員会	7	◎福田 義人 生田 智康	○田谷 幸奏 中村 幸雄	米重 典子	仲行 洋	新原 浩					
産業建設 常任委員会	7	◎矢山 武 徳光 義昭	○下原 嘉雄 仙光 保喜	盛谷 光明	岡田 武士	福田 豪					
議会運 営委 員会	6	◎徳光 義昭 福田 義人	○仲行 洋	岡田 武士	米重 典子	矢山 武					

■特別委員会

名 称	人数	◎委員長・○副委員長・委員									
議会広報広聴 調査特別委員会	6	◎下原 嘉雄 新原 浩	○福田 義人	田谷 幸奏	岡田 武士	米重 典子					
議会改革調査 特 別 委 員 会	13	◎仙光 保喜 仲行 洋 新原 浩	○田谷 幸奏 矢山 武 生田 智康	盛谷 光明 福田 義人 徳光 義昭	岡田 武士 福田 豪	米重 典子 下原 嘉雄					

■一部事務組合議会

名 称	選出方法	人数	議 員 名							
三原広域市町村圏事務組合議会	選挙	3	中村 幸雄	矢山 武	徳光 義昭					
世羅三原斎場組合議会	あて職・選挙	5	中村 幸雄 仙光 保喜	田谷 幸奏	福田 豪	新原 浩				
世羅中央病院企業団議会	あて職・選挙	4	中村 幸雄	盛谷 光明	米重 典子	福田 義人				
広島中部台地土地改良 施設管理組合議会	あて職・選挙	4	中村 幸雄	盛谷 光明	仲行 洋	生田 智康				
甲世衛生組合議会	あて職・選挙	4	中村 幸雄	岡田 武士	下原 嘉雄	生田 智康				
後期高齢者医療広域連合議会	選挙	1	福田 義人							

平成24年 第4回議会定例会

○賛成 ●反対 空白 欠席 × 棄権

議案番号	提出議案	採否	田谷	盛谷	岡田	米重	仲行	矢山	福田義	福田豪	下原	新原	生田	徳光	仙光
請願第10号	榎橋に歩道（側道橋）を設置	採択	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
陳情第12号	「生活保護基準の引き下げはしないこと」などの意見書提出	不採択	●	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	●	●
陳情第13号	国家公務員給与を自治体に連動させず地方財政の充実を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第14号	「教育無償化」の前進をもとめる陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
議案第84号	消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

※他議案の採決結果は8ページに掲載

初議会開会

24年第4回定例会

12月10日から22日まで開催

一般質問は、この度の町議会議員選挙で初当選した6名を含み全員が31項目にわたって施政を質した。会期中それぞれの委員会では事務調査を行った。

また、今定例会の請願は1件、陳情は7件で、採択したものは請願1件、陳情4件であり、不採択は陳情3件であった。

議案の採決状況、一般質問、委員会調査・陳情審査の概要は別頁に記載する。

高齢者・障害者の移動等円滑化の基準を条例化

政府が推進する「地域主権改革」の一環として、地域の住民として、自らが暮らす地域の在り方を自ら考え、主体的に行動しその行動に責任を負うという観点から、各種の基準が条例に権限移譲されたことから、自治体自らが地域の諸課題に取り組み、実情にあった基準（条例）を作ることが出来るようになった。

その結果、①特定公園施設の新設・増設・改築を行うときのバリアフリー化②介護保険法に基づく指定地域密着型サービス（介護が

必要になっても住み慣れた地域で暮らせるようにするもの）及び同介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等の決定が、町の条例により改正できることになった。

具体には①の関連で寺町に建設予定の「都市公園」計画が高齢者、障害者等の移動を円滑化促進に関する法律（バリアフリー新法）を適用するため必要であり、6日の全員協議会で説明があった。

公園は、多目的グラウンド・遊具・東屋・植栽などを整備して親子でゆっくりでき、グラウンドゴルフも可能。工事費約1億5千万円で関係者の声を聴き具体化するというものだった。

観光案内拠点を計画

尾道松江道全線開通をにらんで

26年度末に予定する尾道松江道全線開通に向け、町は町内の観光施設などをPRするインフォメーションセンター（仮称）を開設する計画を説明。本年度基本計画を策定。26年度中の完成を目指す。計画では、町内の観光情報がわかる休憩コーナー、トイレ、駐車場、バス停などをつくり、広さ1万㎡。公募による民間業者の参入も予定している。場所は世羅インターの最寄り付近を検討中との説明があった。



尾道松江線完成後は

新体制による

消防団の組織再編を条例化

消火活動・予防活動・災害時の救助・非難誘導活動など地域の安全・安心を守る中核的存在として大きな役割を果たしている消防団がより効率的で迅速に統制される組織として、方面隊を廃止5分団16部に再編された。合わせて、1月1日より消防団員の報酬が、水害・火災・警戒が（一回当り）3千円に増額改正された。訓練3千7百円、会議・検査等3千5百円は据え置かれた。

初議会で正副議長選出

議長に 中村幸雄氏
副議長に 仙光保喜氏

11月12日に議会議員選挙後の初議会が行われ、町議会議員選挙の結果を受け、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に中村幸雄議員が選任され、副議長に仙光保喜議員が選任された。
常任委員会・特別委員会の委員会等は、3ページ構成表のとおりである。

第3回臨時会

副町長に 海見裕嗣氏

11月19日第3回臨時会で、前副町長金尾則満氏が11月13日をもって退任したことを受け、副町長選任同意の投票が行なわれ、賛成多数で海見裕嗣氏が副町長に同意された。



バリアフリー新法が適用される都市公園位置図

人事

人権擁護委員の推薦諮問を
適任とした

藤路 隆裕 氏

世羅町大字長田

訂正とお詫び

議会だより第31号（平成24年10月15日発行）3ページに、実質公債費比率（町の判断で自由に使える財源に占める割合）としていましたが、正しくは、実質公債費比率（財政規模に対する公債費の割合）です。訂正しますとともにお詫び申し上げます。

報告します 委員会は今

町長に中山間8策を問う

総務文教常任委員会

中山間8策

町長の提唱する中山間8策は予算編成と合わせて具体化するため調整中である。中でも「健康いきいき大作戦」体力増強を進め、健康で農業に従事、スポーツを楽しむ、繋がりと交流を大切にする

町づくりに重点を置く。職員が仕事をしやすくするため現場主義を導入し職場をサポートしたい。

25年度予算編成方針

町長は法に基づき、25年度予算編成の概要を提示。新たに、係長以下の職員にチャレン



総務文教常任委員会

ジ枠を設け、自由な発想で企画立案させ、良いものは実行する。

地域医療の確保には

病院の医師数は法定数に達してない。引き続き広大、県、県病院に派遣依頼を行う。病院は研修機能を高め医師の育成指導にあたる方針。

過酷な医師の労働を軽減するには

時間外診療の適正化と、※1コンビニ受診などを抑制する。

医師の労働を正に評価し、努力に報いる地域づくりが必要。今後、フォーラムの開催も検討する。

科の新設は、消化器外科、呼吸器内科を検討中。

近辺にない産婦人科は、三次中央病院と連携し産科援助システムを駆使して妊婦をサポートしている。利用者は10月末で15人と報告

された。

甲山デイスサービス内にあるリハビリプールは浴槽改修のため、中断されるが、ひざ関節痛などに効果があり、引き続き運用を望むと強い要望があった。

いじめ不登校問題行動

いじめの認知件数は、小学校は0、中学校4であった。全国の平均は1000

人あたり5.0人
広島県は1.7人

不登校児の動向問題行動

不登校

小学校2人
中学校11人 計13人
問題行動は
小学校0件
中学校5件であった

(調査は11月末現在)
次回はアンケートの内容も調査する。

農業後継者の育成は

産業建設常任委員会

野積み堆肥の状況は

町内9か所に2万トン近い堆肥があり撤去が進んでいない。町としては所有者が撤去するのが前提であり、排出者の責任を求めるため県と協議を行なう。

水質は問題ないとは言え、早期解決へ向けて町の努力を求める。業

農業後継者の育成は

者と市との裁判が進めば、排出者責任が進むと思われる。

今年度、農業後継者確保事業では、新しく6名が活用中であり、国の制度による青年就農給付金受給者は現在※22.5人である。利用を増やすため要綱要領に

増やすため要綱要領に

※1 コンビニ受診=ごく軽い症状で緊急性もないのに、夜間や休日に病院の救急外来をコンビニのように気軽に利用すること。

※2 2.5人=夫婦が対象の場合は1.5人とカウントする。

基づいて周知を図る。今後、耕作用地を確保するため、耕作放棄地再生事業を活用し、農地の整備を進める。産業創造大学の参加者は6名で、国の就農給付金事業の活用を図り、より多くの農業後継者の育成に努める。

指定管理の状況

管理の行き届いてない「せらにし青少年旅行村」は、指定管理期間が2年間残っている



下水道工事現地調査

が、年度末を目途に新たな管理方法を含め検討する。

八田原グリーンパークは、指定管理部分の縮小も含め、今後のあり方を検討する。

国・県・町道の改良

国道432号賀茂バイパスと重永本線の計画は、バイパスの詳細設計が行われており、近く地元説明する。重永本線は本年度中に法線を決定する。

さらなる議会改革に挑戦

議会改革調査特別委員会



議会改革調査特別委員会

議員個々で質問内容が同じとは限らないので調整は難しい。可能なものは議長、副議長で調整する。

○パソコンなどのIT機器の持込みは、情報源として有用であるが、必要以外の機能もあり、持ち込みは禁止した。

○議員への答弁書の前公開は、執行者と議員とのやり取りに緊張感がなくなり、議論が形骸化する恐れがあり事前公開はしない。

○質問の主旨を明確に要約して効率的に行う。

○議員の品格に恥じないよう行動する。

○議会報告会・意見交換会の義務付け

○一般質問における同一事項の取り扱い

議会だより新メンバーでスタート

広報広聴調査特別委員会

議会だより発行研修会

11月29日、新メンバーで中国新聞読者広報部の亀川和典氏を講師に迎え、読みたくなる見出しの付け方、内容の伝え方、記事の書き

方、写真の有効的な使い方、編集・校正など必要な技術研修を行った。メンバー一同「議会だよりせら」が今まで以上に親しまれる紙面になるよう決意を新たにしました。



読みたくなる見出しの付け方など研修

皆さんの
からの

陳情と請願 このように決めました

■採択になったもの

◎榎橋に歩道(側道橋)を設置のお願い

世羅町栄町振興会
会長 安佐 義和 他140名
紹介議員 岡田 武士

◎世羅町下水道工事に伴う事業見直しの要望

世羅町商工会 会長
山平 正登 他16社
工業部会長 實川 龍雄

◎「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる陳情書

軍事費を削って、くらしと福祉、教育の充実を！
国民大運動広島実行委員会
代表 川后 和幸

◎公共施設のバリアフリー化について

世羅町身体障害者福祉協会
代表 桑原 嘉明

◎せら香遊ランド多目的グラウンドの整備に関する嘆願書

広島県軟式野球連盟 世羅支部
支部長 松浦 孝夫 他15件

■不採択になったもの

◎「生活保護基準の引き下げはしない」といなどを国に意見書提出を求める陳情書

軍事費を削って、くらしと福祉、教育

の充実を！

国民大運動 広島県実行委員会
代表 川后 和幸

※不採択理由

国民年金を掛けた人との整合性と、全額国庫負担するのはなじまない。

◎国家公務員給与特例法等を自治体に連動させず、地域・自治体の施策と財政の充実を求める陳情書。

軍事費を削って、くらしと福祉、教育の充実を！
国民大運動 広島県実行委員会
代表 川后 和幸

※不採択理由

住民感覚からずれがある。それぞれの自治体で考えればいいことである。

◎「教育費無償化」の前進をもとめる陳情書

軍事費を削って、くらしと福祉、教育の充実を！
国民大運動 広島県実行委員会
代表 川后 和幸

※不採択理由

どこまで無償化すればよいか。教育を受けるには責任が生じる。大学生には奨学金制度がある。給付制奨学金制度を作る必要があるのか疑問である。

全員一致で採択可決したもの

議案番号	提出議案	採否	議案番号	提出議案	採否
発議第13号	会議規則の一部改正	可決	議案第81号	地域密着型介護老人施設の入所定員に関する条例	可決
陳情第11号	下水道工事事業内容の見直を求める陳情	採択	議案第82号	水道布設工事監督者・技術管理者に関する条例	可決
陳情第15号	「ゆきとどいた教育」の前進を求める陳情	採択	議案第83号	公共下水道条例の一部改正	可決
陳情第16号	公共施設のバリアフリー化の要望	採択	議案第85号	一般会計補正予算（第7号）	可決
陳情第17号	せら香遊ランド多目的グラウンド整備の嘆願	採択	議案第86号	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
発議第14号	「ゆきとどいた教育」の前進を求める意見	採択	議案第87号	後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第76号	町道路線の変更	可決	議案第88号	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第77号	暴力団排除条例の一部改正	可決	議案第89号	農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第78号	高齢者障害者の移動円滑化・特定公園施設の基準条例	可決	議案第90号	上水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第79号	指定地域密着型の人員、設備及び運営基準条例	可決	議案第91号	簡易水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第80号	指定地域密着型介護予防に係る介護予防の支援条例	可決	議案第92号	公共下水道事業会計補正予算（第2号）	可決

採決表は3ページにも掲載

一般
質問



町政の課題

13議員31問を質す



農業後継者対策事業研修風景

●福田豪

農業振興の



福田 豪議員

補助事業は、本年度で終了するもの、スタートしたものもある。町の農業後継者対策は5ヶ年事業の中間評価はどうか。農業振興の有り様を問う。

A

担い手確保を推進

Q

農業振興の有り様は

■町長 「日本一躍動する町」を創造したい。政策提言を柱とした基本構想(長期総合計画)の検討に入りたい。これまでの課題を共有し、新たな発想で計画したい。その中で、思いの通ずるものは進めていきたい。

●福田豪 全町農村公園化は、今年度から基本計画に着手するとしていた。これらの今後はどうなるのか。

A

思いの通じる計画は進めたい

Q

全町農村公園化の今後は

■町長 一人でも多くの後継者が確保できるよう対象者には丁寧に説明をする。後継者の確保と育成は、国の補助事業を優先的に活用する。地域農業の再生と活性化のため、一人でも多く定着してもらえよう取り組む。

中山間8策の施策実現は

過疎・長期総合計画を勘案して



福田義人議員

社祭りの定着を目指す。陸上競技場は町のシンボルとし、多様な使い方を議論し実行委員会を立ち上げる。

●福田義 世羅台地に新風を、次世代に襻を渡す政策として、中山間8策を提唱した。いかに実現するか。

■町長 介護予防、健康寿命を延ばすには、健診、特にがん検診の受診率を上げ、健康福



イノシシ防止柵設置

■町長 いかに世羅に滞在するか、世羅の魅力を発信するか考えている。情報基地として東の玄関口IC付近にインフォメーションセ

●福田義 尾松道は26年度末に世羅インター以北が開通し松江まで一気に通行できる。流通、産業基盤、観光の重要施策として活用すべき。単なるストロー現象にならない対策を急ぐ必要がある。

Q 尾松道全線開通に向けた対策を急げ情報基地・観光客誘致施設をつくる

ンター(仮称)を整備し、広域観光の振興を図る。企業誘致はさまざまな機会を通してトップセーブルスにも力を注ぐ。合併10周年を期に町づくりの戦略として急ぐ。

Q 鳥獣被害防止の今後は鳥獣被害防止は重要政策

●福田義 イノシシ被害防止の質問を繰り返した述べたが、最近では鹿の被害も増大し駆除対策を積極的に行うと言われた。鳥獣被害防止対

Q 副町長の選任は人材重視で



岡田武士議員

●岡田 人選に当たって

職員内部と一般からの選出が考えられるが、どちらを重視されたか、今回の人事で地域バランス感覚はなかったのか。

策は彼らとの知恵比べ。メッシュ柵が延び、効果を上げていないが、一時対策にすぎない。新たな鳥獣対策システムが望まれる。

■町長 安心して暮らすには鳥獣被害防止対策は欠くことができない。新規狩猟免許取得を奨励し、罟の架設講習や、集落内で自らの農地を守る人材育成を支援したい。一方、メッシュ柵の点検・補修や里に出にくい環境づくりも集落で話し合っほしい。

Q グリーンツーリズムを進めよう農家民宿の仕組みに取り組み

●岡田 農家の所得向上を目指すため、*グリーンツーリズムをどのように考えているか。

■町長 グリーンツーリズム大賞を世羅高原6次産業ネットワークが受賞した。花や果物の観光農園・加工グループ・産直市場など町内全域で連携し、発足以来10年間で売上高を伸ばしたことが高く評価された。農家民泊の仕組みづくりに取り組んでいる女性の参画を促すことが重要である。

■町長 職員内部からの登用を考えていた。特に財政関連に強い人材との思いがあった。私のパートナーとなるので、人材重視で決めた。

Q 町内の子どもを大切に 応分の負担を

●岡田 幼稚園・保育所の保育料を無料化の考えはないか。

■町長 授業料保育料は親の責任として負担頂くことが望ましい。所得によって金額を設定し、応分の負担をお願いしバランスをとっている。高校生までの医療費については、まだ検討していないので調査する。



子ども達に明るい未来を



通学助成の公平化を

山が約7万4千円、世羅中が約10万、世羅西中が約1万4千円と差があり不公平感がある。公平な行政執行という意味で助成額の均衡を図る必要がある。

●**仲行** 認可区域内での整備状況は、また区域外の要望もあると思う。今後の取り組みは。



仲行 洋議員

Q 今後の水道事業は

A 80%の加入率で推進

地区は、加入意思を充分確認したうえ事業計画を行う必要がある。山福田地区の認可区域外は、要望を把握していないし、現在整備する計画はない。

Q 通学助成の不公平は正は

A 不公平化へ向けて検討

●**仲行** 中学校における遠距離通学費の助成は三通りあり、一人当たりの助成額は甲



下原嘉雄議員

●**町長** 賀茂バイパス

●**下原** 国道432号賀茂バイパスは計画から十数年経過したが、未だ車道幅が狭く日常生活が危険状態を脱していない。併せ重永本線の進捗状況は。

Q 賀茂バイパスの進捗状況は

A 早期完成に強く働きかける

は、平成15年度に路線計画が発表された後、一時休止状態となっていたが、24年度から事業が再開され、詳細設計に着手された。今後は継続して事業が進められ、早期に完成するよう県に強く働きかける。次に重永本線の未着工区間は、賀茂バイパスの設計が着手されたことを受け、本年度設計に着手し早期完成に向けて努力する。

Q 選挙の勝因と基本姿勢は

A スピードと行動力

●**町長** 自分ひとりの力ではなく多くの方のご支援と町民の皆様が何か変化を求められたものと思う。スピードと行動力でさまざまな事業を進めたい。

●**町長** 不公平感があることは認識している。今後とも公平化に向けて調整が必要である。

勝因と町政に対する基本姿勢は。

Q 元気の出る地域づくりについて

A 地区担当者

●**下原** 中山間8策で表明されている「地区担当者の設置」を推進し、13自治センターを拠点として、地域と連携した体制づくりの支援や産品開発の助成をして活性化の糸口としたらどうか。

●**町長** 職員が地域を熟知し、将来を考える中で助言・提案がしやすい体制が望まれる。商品開発を活性化に結びつけるには、6次産業の手法が有効である。財源支援は、ふるさと夢基金や過疎地域生活支援モデル事業などにより支援していく。

Q 明るい高齢者地域づくりについて

A 中長期的整備計画で検討する

●**町長** 中長期的に安心・安全なウオーキング環境を整備し、費用対効果などを勘案して町全体の均衡ある整備を検討する。高齢者を活用する施策は、高齢化率が上昇する中で関係機関と協働により推進したい。

●**下原** 健康づくりの目的で河川堤防を遊歩道として整備しては。また、町全体を里山と位置づけ、高齢者が生活職人として培ってきた知識・経験を活し、訪問者をもてなす事業で活用してはどうか。



幅員のせまい賀茂地区の国道432号



はんぶんこプラン研修会

Q 男女共同参画行動計画は
A 地域に密着した活動を



米重典子議員

●米重 世羅町男女共同参画行動計画（はんぶんこプラン）の住民

■町長 はんぶんこプラン推進会議で、出前講座・研修会など啓発活動を行っているが、

への認知度は低い。5年の期間の半分を経過した現在までの成果と今後の課題は。

●徳光 世羅台地に新風を、若さと行動力で果敢に挑戦を、主要施策の①健康いきいき大作戦は②陸上競技場建設は。



徳光義昭議員

Q 日本一躍動する町に
A 健康いきいき大作戦で

■町長 ①スポーツで健康づくりをうたい、高齢者に限らず健康で笑顔の町をめざす。介護予防には新たに寝たきりゼロをめざし、退院後、再度病院に戻らないよう支援の拡充に努めたい。
②ハード面だけでなく心のシンボルにもなる施設として今後建設を進めたい。

Q 世羅を愛する奨学金制度とは
A 地元就職をすすめるために

地域への浸透状況は十分とは言えない。今後は職場や地域、学校などとの連携、リーダーの育成にも取り組み、より地域に密着した活動を継続したい。

●米重 提言の中山間8策の中、「世羅を愛する奨学金制度」とあるが、具体的にはどんなものか。
■町長 具体的に検討を始めようとしている。農業など地域貢献できる職種について、専門的な技術の習得などの学習に対して、学費援助ができないかと考えている。

■町長 現在、内部協議中ですぐには示せないが、世羅に必要な事業、活性化に繋がるものは取り組む。基幹産業

●徳光 ①改選前の継続事業は ②新たに改革する施策は

Q 町長の政策方針を問う
A 基幹産業の農業に新施策

業の農業施策は新たな担い手の確保、農外企業誘致に取り組む。2次分野の起業家支援、商品開発、人材育成に努めたい。6次産業は、事業者および担い手の確保、産品開発を支援する。
観光施策は観光協会の実、花と果樹のみならず、特徴ある食の開発、グリーンツーリズムの普及に努める。



健康いきいき生き作戦



未普及地域の水道は

●**盛谷** 中山間8策の②おもてなし総ぐるみ運動の「早急な町の玄関整備・駅伝の里にふさわしい施設の新設」「遊休・既存施設の有効活用・地域振興に活かす」「沿道をきれいに素敵な町と誇れる環境の整備を進める」の考えは。



盛谷光明議員

A **Q**
地域が活きる中山間8策とは
陸上競技場も手段の一つ

■**町長** 世羅インター付近を整備。駅伝の里にふさわしいきれいな環境が一番。町のムードを盛り上げる仕掛けが必要で、陸上競技場も手段の一つ。
20年6月に「未利用財産利活用基本方針」を策定し、建物を含め公売の実施を推進した。25年度新たな県の施策である「現場主義実践プロジェクト」にも花観光にふさわしい道路の景観整備事業を提案している。



矢山 武議員

●**矢山** 出来るだけ負担が低く、助け合い、地域とつながりを保て

A **Q**
グループホーム実現とゴミ袋の引き下げを
国県への要望し価格の検討

■**盛谷** 大坪・福原・山福田地区では、日照りが続く飲料水が不足し町の施設で水を調達している。風呂水が不足し、近くの温泉を利用するという大変不便な状況が出ているが、水道整備計画はどのようになっているか。未整備地域のボーリ

るグループホームがでないか。
ゴミ袋は他の市町並みに引き下げて収集力を高めてはどうか。

■**町長** 山福田地区は、18年2月に事業認可を受けているが、実施に至っていない。
大坪・福原地区は、地元から要望が届いている。住民の意思の確認、補助制度・財源確保などを踏まえ過疎地域自立促進計画で取組む。
ボーリング井戸助成は他市町の制度などを参考に検討する。水道の未普及地域の解消も研究をする。

■**町長** 住み慣れた地域、自宅で生活できるように、国県に要望す

A **Q**
いじめの対応強化を
アンケートに取組み学校全体で検討

●**矢山** 小中学校で問題があるとの声が出ており、全国的にも大きな課題となっている。一層の取り組みが求められている。学校の取り組みはどうか。



ゴミ袋の引き下げを

■**教育長** 広島県は岡山・山口県に比べいじめ件数が少なく、全国平均の3分の1である。いじめをなくすためアンケートの改善をして行く。学校と家庭が連携し、早期対応に努める。

A **Q**
在宅障害者福祉サービスは
新法により支援する

●**矢山** 家庭の手助けが必要な中で、障害者の願いに応えるサービスが必要であり、在宅福祉サービスを充実するべきでは。



次世代へのタスキ



新原 浩議員

Q 支所の災害時における危機管理体制は
A 職員初動マニュアルにより対応

●新原 地域はボランティア組織で自主防災組織を立ち上げているが、支所の休日における連絡や危機管理体制

は。
■町長 支所における休日、夜間は、連絡網により対応している。災害時の危機管理体制は、地域防災計画、職員初動マニュアルなどにより、迅速、的確な対応を行うよう整備している。

Q 財政健全化の財源確保は
A 収納率向上や新たな財源確保に取り組む

●新原 今後の財源確保はどう考えているか

■町長 町税などの収納率の向上、未利用財産の売却・貸付、農外企業の参入の促進など新たな財源の確保を図る。

Q 「せら高原Run」の推進は
A 進捗に応じた情報提供や参画を推進

●新原 新聞報道でプロジェクトの実行委員会があるというが。

■町長 世羅町商工会・観光協会・行政等で構成されている。事業の進捗状況に応じ、町民への情報提供や参画の推進を図っていくよう行政としても対応する。

Q 町内の廃屋処理は
A 出来る事は全て実施



生田智康議員

●生田 本年9月6日深夜、廃屋建物の壁が町道に落ちた。所有者

■町長 町としてとるべき措置は全てとり、所有者からの返答を待

との処理の進捗状況は。事故が起きた時の町の責任は。町では顧問弁護士を雇っているが活用してはどうか。

っている状況。所有者と被害者間の話なので、当事者間で対応することになる。
現段階では弁護士には相談していないが、対策には万全を期したい。



危険建物対策は

Q ゴミ袋値下げの考えは
A 値下げは一般財源増になる

●生田 45ℓのゴミ袋1枚が150円。財政基盤がほぼ同じの大崎

■町長 ゴミ袋の価格の引き下げは、町民の経済的負担が軽減されるメリットがあるが、ゴミ量がさらに増加する恐れがある。また、持ち出す一般財源が増えることで町民の方にも処理費の負担をお願いすることになる。今後審議会でも適正な価格になるよう検討する。



ハローシグナル（年末交通安全）

●仙光 新町長を迎え、町民は期待をしながらも以前とどう違うのか心配をしている時期で、



仙光保喜議員

今回の選挙で若者定住に力を入れていく必要を訴えてきた。現状では、子どもや高齢者に向けた政策がいろいろ行われているが若者

A Q 奥田町長の8策を問う 予算編成後に説明

行政環境が整い歩を進める段階になれば少し方向がわかり心配も和らぐ。

■町長 政策がどう変わるか不安を持たれているようだが、就任1カ月半のなかで現状把握に時間を要しておりご心配をかけている。若者定住には、さま

にもっと目を向けた行政をすべき。8策中、特に③所得倍増計画⑤住環境プロジェクト⑥教育環境日本一⑦3世代同居支援について明確な政策が求められる。

下水道と浄化槽の費用公平化に取り組む。具体性に乏しいとのことであるが、ご理解いただくよう予算編成後に説明する。

さまざまな考え、やり方がある。仕事がない、住むところがない、教育の充実など、ニーズに全部対応できるのが最善と思う。所得倍増は、暮らしのために必要な利益を上げていく起業家を支援する。



田谷幸奏議員

●田谷 近年、日本各地で、地震や集中豪雨が発生し、甚大な被害をもたらししているが、このような災害に対する

A Q 災害に強いまちづくりを 町民の人命安全を第一に

る防災対策を講じているのか。

■町長 防災対策として「自主防災組織の立ち上げ」「学校施設の耐震化」など各種施策を推進するとともに、本年度は地域防災計画の策定、防災拠点施設の整備等、安心・安全

A Q 町内隔々まで行き届く行政サービスの充実を 地域の拠点として自治センターの充実を

●田谷 町内13か所の自治センターを地域の

の確立に向けた施策を推進している。自主防災組織は、町内に35組織があるが、今後、すべての地域に設立することを目指し、引き続き支援する。ハザードマップの更新は、より利用しやすいように、今後、調査し検討する。

■町長 自治センターが地域の拠点としての機能を果たすには、13地区の地域リーダーの育成や人材確保などが必要であるので、育成策を計画している。

また、改修工事は、一日も早い移転ができるように努力する。



防災対策

元気な人紹介



スローなエンジン Joyライフを！

おへそカフェ

オーナー 代田 京子さん
フランク・カステイジャ・ロメウカステさん

国道184号線、宇津戸郵便局を南に1km入ったところにある「おへそカフェ」は、2年半前に築150年の古民家を借りて開店した。縁側からは、目の前に広がる里山の風景が一望でき、店内は、畳を生かしたオープンな雰囲気を出している。

営業最終日の12月25日に「おへそカフェ」に広報委員全員で取材に訪れた。

料理は、オリブ油と塩をかけたシンプルなお家製パン、アンチョビと野菜たっぷりの2種類のピッツアとリゾット。デザートにケーキとドリンクを美味しくいただいた。その後オーナーの代田さんとフランクさんにインタビューをした。

お二人の出会いには、ヨーロッパ旅行中、滞在先のイタリアの※1 WWOOF（ウーフ）で一緒に働き、21年2月二人で帰国された。帰国後しばらくして店を始めた。苦労はあるが、資金は借りずコツコツ前に進もうと二人で決めた。

「おへそカフェ」では、食の安全を大事にしたいと材料にこだわり①自家産②世羅産③日本産④海外産の順で選んでいる。海外産は、無農薬や※2 フェアトレードのものやイベリコ豚など本物のスローフードを厳選している。

スペインバレンシア地方出身のフランクさんは、日本に来る前は何も知らなかった。文化の違いにとまどいを感じたが、現在では、日本にも慣れて言葉も少しずつ話せるようになった。

二人の目標を聞くと、エンジンライフと答えられた。「楽しく仕事をして楽しく生活する」ことに意味がある。食糧を自分たちで作る、安全安心な料理を提供すること、家族と一緒に出来るのがハッピー。楽しく生活してこそ人生だ。今をエンジンライフしているお二人は、素晴らしいと思った。

町への要望を聞くと、自分は国から支援を受けたが、世羅で起業した仲間が資金調達に苦慮しているという話を聞き、ぜひ起業家を支援をして欲しいと結ばれた。

次の営業

は、スペイン帰国のため3月の予定である。

福田義人



イタリアよりとり寄せたピザ窯

表紙紹介



飲酒運転はダメ！

年末の交通安全を願ってツリーの点灯式が「パオ」でありました。

町内3か所の保育所園児の帽子を信号の赤青黄色になぞらえて「青になったら」の遊戯を演じました。青の帽子はせらにし保育所の園児の皆さんです。

編集後記

10月の選挙で執行部・議会議員も新しい顔となり、広報委員も新しいメンバーで今後編集しお伝えいたします。議会と執行部は車の両輪と言われます。左右の車輪が同じ大きさでなければ車は前には進みません。世羅町が大きく前進する為には、その両輪を担う議会と執行部は、互いの権能に敬意を払いながら、緊張感

10月の選挙で執行部・議会議員も新しい顔となり、広報委員も新しいメンバーで今後編集しお伝えいたします。議会と執行部は車の両輪と言われます。左右の車輪が同じ大きさでなければ車は前には進みません。世羅町が大きく前進する為には、その両輪を担う議会と執行部は、互いの権能に敬意を払いながら、緊張感



を保持して真摯に向き合う姿をお伝えいたします。（下原）

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は3月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

委員長／下原 嘉雄	副委員長／福田 義人	委員／田谷 幸奏・岡田 武士
議会広報広聴調査特別委員会	委員／米重 典子・新原 浩	

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。



この広報は、環境にやさしい植物性大豆インキで印刷しています。

※1 WWOOF（ウーフ）＝お金のやりとりなしで、「食事・宿泊場所」と「力」そして「知識・経験」を交換するしくみ。ホストとウーファは「家族のような友達同士」のこと。

※2 フェアトレード＝発展途上国と公平な貿易。人や地球にやさしい商品。